



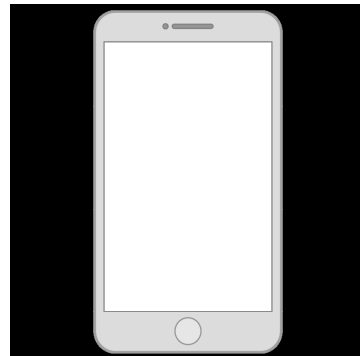
校長通信

令和4年度24号 令和4年12月20日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《わかやまネットフォーラムを参観しました！》

12月17日（土）海南市にある市民交流センター（※海南 nobinos）において、和歌山県が主催する「第2回わかやまネットフォーラム」が開催され、参観して来ました。このフォーラムの目的は、青少年がインターネットや SNS を介して事件やトラブルに逢わないように、地域の大人や青少年が意見交換しながら学ぶことで、ネットの適切な使用方法を共に考えていくことです。



午前中は、県内小・中・高校生が話し合い「ネットの良いところ・悪いところ」を考えたり、「自治体・事業者・学校・保護者・自分」への提言をつくったりしました。午後は、大学教授、青少年育成推進委員会連絡協議会長、県 PTA 連合会副会長、中学校教諭等と、小・中・高校生が午前中に話し合ったことをもとに、パネルディスカッションで討議しました。

私は、午後の部から参観したのですが、参加した小・中・高校生が多くの参観者の前で、臆することなく堂々と意見を述べていたことに、驚きました。また、彼らからの提言には、共感することや、なるほどと、気づかされることが多々ありました。

特になるほどと思ったのは、ネット依存症にならないために、各家庭ではルールが必要。でも、そのルールを保護者や大人が一方向的に決めるのではなく、親子で話し合っただけでルールを決める。そうすれば、そのルールを子どもは、主体的に守ろうとするということ。それから、特に中学生は、反抗期にも入り、難しい時期ではあるけれど、実は、家族の団らん、会話を求めているということ。大人も、スマホを控えて、子どもの話に耳を傾けようとする姿勢が大切であること。そんなことを彼らの提案から教えてもらいました。

ネット社会において、スマホやタブレットの使用は避けて通れません。しかし、ネット社会の便利さの裏には、様々な危険が潜んでいること。その危険を回避するために、家庭では家族同志で、学校では、教師と生徒が話し合いながら、ネットの特性を考えていくことが大切だと改めて感じました。

このフォーラムには、河北中学校の生徒も1名参加しました。彼女も、積極的に意見を述べて、参加していました。私も今回勉強させてもらいましたが、彼女にとっても、とてもいい経験になったのではないかと思います。お疲れさまでした。

家族の団らんを大切に！

スマホのルールは、家族で話し合っただけ！

※ 海南 nobinos は、図書館機能・市民活動生涯学習活動支援機能・子育て支援機能・カフェ・広場などを有する、市民交流施設です。（海南 nobinos HP より）